

評価者	健康福祉部長	内海 正彦
-----	--------	-------

評価対象分野・施策の方針・目標とすべきまちの姿

総合計画上の位置付け	分野	スポーツ・レクリエーション	施策の方針	スポーツ施設の整備
目標とすべきまちの姿	市民ニーズの高いスポーツ施設が整備され、民間のノウハウも生かした幅広い施設運営により、市民のスポーツ活動が充足されています。			

1 市民意識調査結果

(1) 認知度(回答者全体に占める割合)

取組を知らない・わからないと答えた人の割合	平成30年度(2018年度)	27.8%	平成29年度(2017年度)	22.8%	平成28年度(2016年度)	21.8%
	平成27年度(2015年度)	25.3%				

(2) 妥当性

お金の使い方

	使いすぎ	ちょうどよい	足りない
必要以上の効果	2.1%	0.5%	0.3%
ちょうどよい	1.2%	40.0%	1.7%
効果不十分	2.1%	2.1%	17.7%

平成30年度(2018年度)

お金の使い方

	使いすぎ	ちょうどよい	足りない
必要以上の効果	0.7%	0.7%	0.2%
ちょうどよい	1.1%	40.2%	1.2%
効果不十分	2.6%	1.6%	24.3%

平成29年度(2017年度)

施策の方針全体における位置(効果とお金の両方が「ちょうどよい」の割合)

お金の使い方

	使いすぎ	ちょうどよい	足りない
必要以上の効果	2.3%	0.4%	0.7%
ちょうどよい	1.2%	43.2%	2.3%
効果不十分	2.3%	2.1%	18.7%

平成28年度(2016年度)

お金の使い方

	使いすぎ	ちょうどよい	足りない
必要以上の効果	1.4%	1.1%	0.1%
ちょうどよい	1.3%	38.6%	2.1%
効果不十分	2.7%	3.6%	17.7%

平成27年度(2015年度)

全体における位置(効果とお金の両方が「ちょうどよい」の割合)

(3) 今後の進め方

	もっと力を入れるべき	現状のままで良い	力を入れなくて良い	無回答
平成30年度(2018年度)	22.1%	39.8%	5.3%	32.7%
平成29年度(2017年度)	28.3%	39.4%	4.7%	27.6%
平成28年度(2016年度)	26.1%	42.8%	3.9%	27.2%
平成27年度(2015年度)	25.5%	38.9%	4.9%	30.8%

2 内部評価

(1) 平成30年度(2018年度)の目標

(仮称)鎌倉市総合体育館及びグラウンド施設整備検討委員会において、スポーツ関係団体等から意見を聞きながら整備基本方針及び基本計画の素案をまとめ、スポーツ推進審議会に諮問する。(健福-58)
山崎浄化センター西側建物の上部利用によるスポーツ施設整備については、引き続き環境部及び都市整備部と連携しながら整備に向けて取り組む。(健福-58)

(2) 目標とすべきまちの姿と平成30年度(2018年度)の目標との関連性

山崎浄化センター西側建物の上部利用によるスポーツ施設の整備を進めていくことで、市民ニーズの高い施設の整備を行うことが出来る。(健福-58)
深沢地域整備事業による総合体育館及びグラウンド整備に向け、他部署との調整や関係スポーツ団体等の意見を聞きながら、進めていくことで、市民ニーズの高い施設の整備を行うことができる。(健福-58)

(3) 事業評価結果一覧表(網掛けは重点事業)

評価対象事業名		決算値(千円)		総事業費(千円)		職員数(人)		法定受託 事務	今後の 方向性	
整理番号	事業名	平成30年度 (2018年 度)	平成29年度 (2017年 度)	平成30年度 (2018年 度)	令和元年度 (2019年 度)	平成 30年度 (2018 年度)	令和 元年度 (2019 年度)		事業 内容	予算 規模
健福-58	体育施設整備事業	4,242	2,033	20,341	16,745	2.0	1.5	無	b	B

(4) 主な実施内容

【主な実施内容】

深沢地域整備事業による総合体育館及びグラウンド整備に向けては、(仮称)鎌倉市総合体育館及びグラウンド施設整備検討委員会を1回(この他、体育館部会・グラウンド部会を各2回開催)開催し、スポーツ関係団体等から新施設建設に向けた意見聴取を行い、鎌倉市総合体育館・グラウンドの施設整備基本方針及び基本計画の素案を作成し、スポーツ審議会に報告した。(健福-58)

ふるさと寄附金及び一般からの寄附金を422万円スポーツ施設建設基金に積み立て、運用を行った。(健福-58)

【実施できなかった事業とその理由等】

鎌倉市総合体育館・グラウンドの施設整備基本方針及び基本計画の素案については、深沢地域整備事業地の都市計画決定の期間延長のため、スポーツ審議会に諮問できなかった。(健福-58)

山崎浄化センター西側建物の上部利用によるスポーツ施設整備は、山崎ごみ処理施設建設の進捗状況により検討を進められなかった。(健福-58)

(5) 平成30年度(2018年度)の取組の評価

効率性	「目標とすべきまちの姿」の実現に向け、適切な事業費・人件費で執行できていたか	適切	要改善
妥当性	「目標とすべきまちの姿」の実現に向け、妥当(適切)な取組であったか	適切	要改善
有効性	「目標とすべきまちの姿」の実現に向け、適切な成果が得られていたか	適切	要改善
公平性	「目標とすべきまちの姿」の実現に向け、受益機会が偏っていない(適切な)取組であったか	適切	要改善

< 上記評価の理由、改善を要する点の具体的内容等 >

・鎌倉市総合体育館・グラウンドの施設整備基本方針及び基本計画の素案について、深沢地域整備事業地の都市計画決定の期間延長のため、スポーツ審議会に諮問にまでは至らなかった。(健福-58)

・山崎浄化センター西側建物の上部利用によるスポーツ施設整備は、下水道処理施設建設の進捗状況に左右されることと、市民ニーズの把握ができず事業が進まなかった。(健福-58)

(6) 評価結果や市民意識調査結果をふまえ、施策の方針等としての、今後の方向性

・競技スポーツの推進を図るため、大会の開催が可能な施設の整備の実現に努めるとともに、整備にあたってはPFI等民間活力の導入や、施設の複合化等について検討する。そのため、深沢地域整備事業課等、他部署との調整を行っていく。(健福-58)
 ・平成31年度は鎌倉市総合体育館及びグラウンド施設整備整備基本方針及び基本計画の素案を、スポーツ推進審議会に諮問するため、近隣自治体の事例を参考に検討を行っていききたい。(健福-58)
 ・民間施設の借用・県や他市町との広域利用も含め、市民が気軽にスポーツを楽しめる環境を整備する。(健福-58)

(7) 令和元年度(2019年度)の目標

総合体育館、グラウンド建設に向け、(仮称)鎌倉市総合体育館及びグラウンド施設整備検討委員会において作成した整備基本方針及び基本計画の素案を、スポーツ推進審議会と協議していく。(健福-58)
 山崎浄化センター西側建物の上部利用は、下水道事業の進捗を注視しながら、都市整備部所管の下水道運営協議会に説明し、地元住民からの様々な意見を集約したうえで市民が望む施設を作る。(健福-58)

(8) 目標とすべきまちの姿と令和元年度(2019年度)の目標との関連性

深沢地域整備事業による総合体育館及びグラウンド整備に向け、他部署との調整やスポーツ審議会の意見を聴きながら、進めていくことで、市民ニーズの高いスポーツ施設を整備していく。(健福-58)
 山崎浄化センター西側建物の上部利用は、市民ニーズの高い施設の整備を進めていくことで、市民のスポーツ活動を充足させる。(健福-58)

3 主な事業における指標(目標ごとに1つ設定)

整理番号	健福-58	事業名	体育施設整備事業								
指標の内容	スポーツ施設建設基金寄附積立金					単位	円	指標の傾向	↗	備考	
当該指標を設定した理由	年次	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R01(2019)				
スポーツ施設整備に必要なため	目標値	100,000	100,000	1,754,000	1,754,000	4,100,000	49,000,000				
	実績値	3,051	269,236	1,736,690	2,010,035	4,225,868					
	達成率	3.1%	269.2%	99.0%	114.6%	103.1%					

参考 前年度外部評価結果への対応

鎌倉市民評価委員会からの指摘

課題

・様々なニーズを調査しているが、それらのニーズを誰がどの様に判断して、施設整備の優先順位をつけるのか？

・「施設整備に関し最も重要な「スポーツ」の考え方を改めて整理した」とあるが、何を以て「重要」と判断したのか？

・(仮称)鎌倉市総合体育館及びグラウンド施設整備の進捗率がよくわからない。指標が必要ではないか？

・昨年の「スポーツ建設基金寄附積立金」が唯一の指標となっているが別指標も設定すべきという指摘に対しては有効な回答がない。

・施設整備には長期的な視野を持って取り組む必要があるため、他に適切な指標となる数値がないため、寄附積立金を指標としているという回答である。

指摘への対応、コメント等

市民ニーズの総合体育館及びグラウンドについては、利用団体である体育協会の各団体に意見を聞き、スポーツ審議会で判断することとします。山崎浄化センター西側建物の上部利用については、下水道運営協議会で地域住民の意見を集約します。

スポーツクォーターでスポーツ審議会委員でもある辻委員に「スポーツ」の考え方について講義いただき、スポーツは文化であるという考えを関係者間で理解を深めました。

現在は、利用者団体からどのような施設が必要であるか聴取が終わった段階です。今後、指標の設定も含め、スポーツ審議会でも審議していくこととします。

総合体育館及びグラウンドの施設建設及び山崎浄化センター西側建物の上部利用については、いずれも事業が未確定で他課の事業の進捗状況に左右されるものであることから、他に適切な指標となる数値がないため、寄附積立金を指標としています。

総合体育館及びグラウンドの施設建設及び山崎浄化センター西側建物の上部利用については、いずれも事業が未確定で他課の事業の進捗状況に左右されるものであることから、他に適切な指標となる数値がないため、寄附積立金を指標としています。

提言

公式試合が開催できるような施設は作れないものか？昨年、茅ヶ崎市で市制記念の一環として行われたソフトボール実業団の公式戦は満席状態であり、子供達を含め、多くの市民にオリンピック候補選手を間近で見られるいい機会になっていた。

提言に対するコメント等

公式試合が開催できるような施設の建設は、建設費や今後の維持管理コストとの兼ね合いが重要であると考えています。大きな大会は藤沢市善行の神奈川県体育センターで行い、市町村単位では、多くの市民が分け隔てなく利用できる施設を建設すべきと考えています。

質問

「市民ニーズ」をどう捉えているのかがわからない。昨年「市民ニーズの高い」施設についての説明を受けたが、「施設」でなく「ニーズ」を行政がどう捉えているのかが知りたい。

質問に対する回答

市民ニーズは、あくまでも「市民が望む要望の高い施設」という前提で、まずは体育協会をはじめ利用者に意見を伺っています。しかし、様々なニーズを捉える為に、場合によっては小さな施設、コストを抑えた施設等を望む声が多ければ、そのような考え方も捉え計画を進めるものであると考えています。

スポーツ施設の整備

評価できるところ

・深沢地域整備事業における総合体育館及びグラウンドの整備に向けて検討を進めている。

評価の内訳				委員会の評価
取組	1	3	4	
効果	1	3	-	-

課題

・「民間のノウハウも生かした幅広い施設運営を検討」とあるが、具体的な方策が不明。
 ・山崎浄化センター西側建物の上部利用によるスポーツ施設整備の検討には、スポーツ関係団体や市民の意見を聞くことも重要である。
 ・山崎の上部利用の見通しについて、テニスコートを整備することを予定したが、実現していないのが現状である。時間の経過とともに、地元でも施設整備の内容(要望)等の意見が分かれていることは問題である。
 ・深沢地域整備事業の都市計画決定の期間延長のためスポーツ施設に関しても進んでいない状況。

提言

・スポーツ施設建設基金に寄付があるという事は総合体育館、グラウンド施設の建設への関心が高いという事なので、今の状況を市民へ説明する必要があると思う。
 ・施設の整備などについては、クラウドファンディングなども利用し、予算を理由に施設の統廃合などの機会を逃さないようにしていただきたい。

質問

・(仮称)鎌倉市総合体育館及びグラウンド施設整備の進捗率は？
 (仮称)鎌倉市総合体育館及びグラウンド施設整備検討委員会において、スポーツ関係団体等から意見を聞きながら整備基本方針及び基本計画の素案をまとめ、スポーツ推進審議会に諮問するとあるが、その具体的内容は何か。
 ・山崎浄化センター西側建物の上部利用・鎌倉市総合体育館の事業についてはほぼ進捗なしだった印象を受けたのだが、両事業とも実現は可能として推進しているのか。
 ・目標とすべきまちの姿に「民間のノウハウも生かした施設運営」と謳われているが、現在指定管理者にスポーツ事業者は含まれているか？含まれていないとしたら「民間のノウハウ」はどのように取り入れているのか？
 ・スポーツ審議会に報告した(諮問に至らなかった)「総合体育館・グラウンド整備」の基本方向はいかなるものを検討しているのか？
 ・スポーツ施設建設基金の積立・運用の具体的な内容はどのようなものがあるのか？